ELECOM

USB パソコン切替器 KVM-KU4 ユーザーズマニュアル

このたびはエレコムのUSBパソコン切替器"KVM-KU4"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、4台までのパソコンを1台のディスプレイ/キーボード/マウス/スピーカで操作できる切替器です。このマニュアルでは"KVM-KU4"の使用方法および安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて"KVM-KU4"を「本製品」と表記しています。また、このマニュアルはお読みになったあとも大切に保管しておいてください。

本製品には以下のような特長があります。

- ●4台までのパソコンを1台のディスプレイ、キーボード、マウスで切り替えて操作できます。
- ●スピーカも1セットで共有できるライン入出力付きです。
- ●マウス、キーボードはUSBインターフェイスに対応しています。
- ●ドライバ不要で簡単が接続なうえ、ACアダプタ不要、本体側ケーブル直付けのコンパクトサイズです。
- ●パソコンの切り替えはキーボードを使ったホットキーでおこないます。
- ●ビデオカードはQXGA 2048×1536ドットの解像度まで対応しています(ワイドVGAはご使用になれません)。
- ●Microsoft IntelliMouse互換マウスに対応しホイール機能が使用できます。
- ●パソコンを切り替えても Caps Lock Num Lock Scroll Lock キーのON/OFF状態 は保持されます。
- ●切り替え時の音声ノイズを小さくする音質フィルターが付いています。
- ●切り替え時にビープ音が鳴らない静音設計です。

Tips ホットキーとは

キーボード上の決められたキーの組み合わせを押すことで、特定のコマンドを実行する機能です。プログラムをメニューから実行したり、機器のボタンを押したりする必要がなく、キーボードから簡単に操作できる便利な機能です。

例えば、本製品では「 Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを2回押し、次に Enter キーを押す」という操作で、次のパソコンに切り替えることができます。

本製品を使用するための手順フロー

パッケージ内容と注意事項を確認しましょう ➡ Side A

▼

接続の前に準備しましょう ➡ Side B

①すべてのOSでの作業
→使用するUSBキーボード、USBマウスを各パソコンに直接接続してOSに認識させておきます。
②Windows 98/98SEのみの作業
→あらかじめ本製品を単体で接続してUSB機器として認識させます。

▼

パソコンや接続する各機器の電源が切れていることを確認しましょう ➡ Side B

- ·各パソコンの電源が切れていることを確認し、さらにACコンセントから電源プラグを抜いておきます。
- ·本製品に接続するディスプレイ、アンプ内蔵スピーカの電源を切ります。

▼

本製品にコンソール機器とパソコンをつなぎましょう ➡ Side B

- ·本製品に直結された4本のKVMケーブルを各パソコンに接続し、ディスプレイ、キーボード、マウスの各ケーブルを本製品に接続します。
- ·すべての機器の接続が終われば、パソコンの電源プラグをACコンセントに差し込みます。

▼

各機器の電源を入れて使ってみましょう ➡ Side C

- ·各パソコンおよびコンソール機器(ディスプレイなど)の電源を入れます。
- ·キーボードのホットキーを押してパソコンを切り替えます。

① はじめに

パッケージの内容を確認しましょう

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべて揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにご購入店または弊社エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- □ USBパソコン切替器"KVM-KU4" 1台
- □ ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1冊

安全にお使いただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠ 警　告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
⚠ 注　意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

■絵表示の意味

⃠記号は「してはいけない」ことを示します。

●記号は「しなければならない」ことを示します。

⚠ 警　告

- 本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは、直ちに使用を中止したうえで、各機器の電源を切り、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止したうえで、各機器の電源を切り、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
  破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。
  火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
- 本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで、各機器の電源を切り、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
- 本製品を火中に投入しないでください。
  破裂により火災やけがの原因になります。
- 本製品に接続したケーブルをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。
  火災や感電の原因になります。

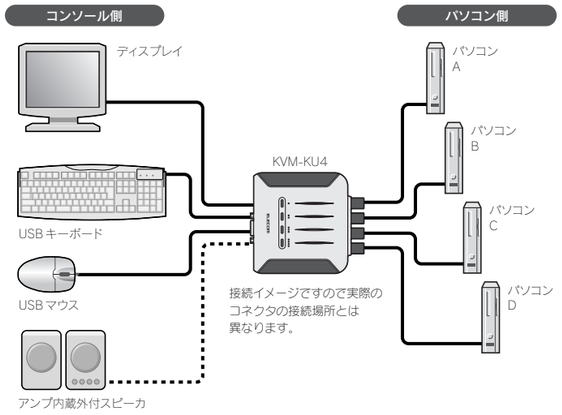
⚠ 注　意

- 本製品にパソコンおよび周辺機器を接続するときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
- 本製品は次のようなところには置かないでください。
  ·日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
  ·多湿なところ、結露をおこすところ
  ·平坦でないところ、振動が発生するところ
  ·マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
  ·ほこりの多いところ
- 本製品にケーブルを接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してください。
  無理に押し込むと、本製品が故障したり、けがをする恐れがあります。
- 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

本製品について

■こんなふうに使えます

本製品は1組のコンソール(ディスプレイ、キーボード、マウス、スピーカ)で複数のパソコンを切り替えて使用するための機器です。パソコンが複数あってもディプレイやキーボードが1組しかいらないので省スペース、ローコストを実現できます。



※スピーカは音声を外付けスピーカで切り替えて再生したい場合に必要です。

キーボードの決められたキーを押すことで、コンソールが使用するパソコンを切り替えることができます。例えばパソコンAを選択すると、ディスプレイにはパソコンAの画面が表示され、キーボードとマウスはパソコンAの操作に使用できます。アンプ内蔵スピーカを接続しているときは、音声もパソコンAのものが再生されます。コンソールだけ、または音声だけを別のパソコンに切り替えることもできます。

本製品を使用するために必要なシステム構成

本製品を使用するためには以下のシステム条件が必要です。

●コンソール機器(ディスプレイ、キーボード、マウスなど)

- ·ディスプレイ×1台(VGA以上の解像度に対応するマルチシンクタイプのディスプレイ)
- ·USBキーボード×1台
- ·USBマウス×1台(Microsoft IntelliMouse互換のホイール付きマウスも使用可能)
- ·アンプ内蔵スピーカ×1セット(音声を外付けスピーカで再生する場合に必要)

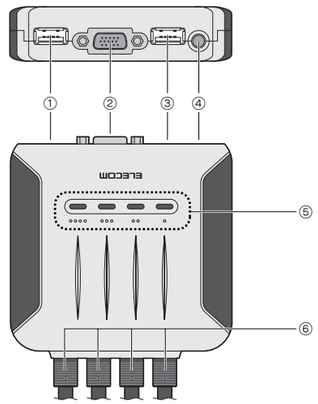
●パソコン

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/Server 2003/2000 Advanced Server/2000 Serverを使用するIBM PC/AT互換機、Mac OS X (10.3以降)を使用するMacintoshで以下の条件に適合するマシン

- ·VGA以上の解像度に対応するビデオ(ディスプレイ出力)機能(ワイドVGAはご使用になれません。)
- ·USBキーボードおよびUSBマウスが接続できるUSBポートを装備※
- ·ステレオミニプラグ対応の音声出力ポートを装備(音声を外付けスピーカで再生する場合に必要)

※USBキーボードおよびUSBマウスをPS/2デバイスとして認識できる機能がOFFになっている場合、およびその機能がない場合は、OSが起動するまでキーボードとマウスを使用できません。この機能についてはパソコンメーカー様にお問合せください。

各部の名称とはたらき



①	USBキーボードポート	コンソール側のUSBキーボードを接続します。本製品側のコネクタ形状はUSB A型(メス)です。
②	ディスプレイポート	コンソール側のアナログ対応ディスプレイ(モニタ)を接続します。本製品側のコネクタ形状はD-Sub ミニ15ピン(メス)です。
③	USBマウスポート	コンソール側のUSBマウスを接続します。本製品側のコネクタ形状はUSB A型(メス)です。
④	音声ライン出力ポート	アンプ内蔵スピーカを使って音声を聞く場合にスピーカのライン端子(ステレオ·ミニプラグ)を接続します。
⑤	PCセレクトランプ	選択中のパソコンが接続されているポートのランプが点灯します。ランプのマーク(●～●●●●)はKVMケーブルの並びに対応しています(●→パソコン1、●●→パソコン2、●●●→パソコン3、●●●●→パソコン4)。オートスキャン·モードのときはスキャン順に接続中のポートのランプが点灯します。
⑥	KVMケーブル	4本のケーブルを1本ずつパソコンに接続します。ケーブルの先端で分かれているコネクタを、パソコンのディスプレイ(モニタ)出力、USBポート、音声ライン出力の各ポートに接続します。

●PCセレクトランプの表示状態

表示状態	内　容
消灯	そのPCポートに接続されたパソコンは選択されていません。
緑色に点灯	PCポートに接続されたパソコンが選択されている状態です。
点滅	点灯と消灯が一定間隔で繰り返されている場合は、オートスキャン·モードの実行中です。

基本仕様

製品型番	KVM-KU4
最大PC接続台数	4台
対応OS	Windows Vista / XP / 2000 / Me / 98SE / Server 2003 / 2000 Advanced Server / 2000 Server、MacOS X (10.3以降)
切替方法	·ホットキー Shift を押しながら Scroll Lock ×2回。 その後 1 ～ 4 (テンキー不可)、さらにその後 Enter 。 Scroll Lock は Ctrl に割当変更可能。
オートスキャンインターバル	標準5秒(1～99秒)
対応ディスプレイサイズ	最大2048×1536 (DDC2B)
LED表示	4
外形寸法	W93.5×D94.5×H25mm
本体重量	約790g
ケーブル長	1.8m (Dsub15pinコネクタ先端まで)
環境条件-動作時	温度:0～50℃/湿度:0～80%(結露なきこと)
環境条件-保存時	温度:-20～60℃/湿度:0～80%(結露なきこと)
消費電力	1.3W
保証期間	1年間

② 接続しましょう

接続作業を始める前に

●各パソコンで USB キーボードと USB マウスが使用できるように、あらかじめ準備しておいてください(Windows 98/98SE の方はこのあとの説明をお読みください)

USB キーボードと USB マウスは、あらかじめすべてのパソコンに直接接続して、正常に動作することを確認しておいてください。この作業は USB キーボードと USB マウスを各パソコンの OS にあらかじめ認識させておくものです。本製品を使って初めてパソコンを切り替えたときに、キーボードやマウスを OS が認識できないというトラブルを防ぎます。

● Windows 98/98SE を使用するパソコンを接続する場合

Windows 98/98SE では USB キーボードと USB マウス、本製品のそれぞれを USB 機器として認識させた状態で使用しないと正常に動作しないことがあります。本製品に各機器を接続する前に、必ず以下の作業をおこなってください。

① Windows 98/98SE を使用するパソコンが単独で使用できるようにしておきます。
② Windows を起動します。起動後に本製品の KVM ケーブルのいずれか 1 本の USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続し、本製品を認識させます。
③ Windows を終了し、パソコンの電源を切ります。
④ PS/2 キーボードと PS/2 マウスを使用していた場合は、パソコン本体に USB キーボード、USB マウスに差し替えてから Windows を起動し、キーボードとマウスを認識させます。
（すでに USB キーボード、USB マウスを使用していた場合は手順⑥へ進みます）
⑤ Windows を終了し、パソコンの電源を切ります。
⑥ パソコンからすべてのケーブルを取り外します。これで準備は完了です。必ず KVM ケーブルの USB コネクタもいったんパソコンから抜いてください。
このあとは、次の「本製品と機器を接続する」へ進みます。

本製品と機器を接続する

接続図を参考にして以下の手順で各機器を接続してください。

1. 以下のことを確認します。
①すべての機器の電源が切れていること
②本製品に接続するパソコンからディスプレイ、キーボード、マウスなど共有する機器が外されていること

2. ディスプレイ、USB キーボード、USB マウスを本製品の各ポート（ディスプレイ 、USB キーボード 、USB マウス ）に接続します。アンプ内蔵スピーカを使用する場合はスピーカの音声プラグを音声ライン出力ポート( )に接続します。

※カッコ内のアイコンは、本製品の底面に表示されているアイコンに対応しています。USB キーボードからホットキーの信号を受けますので、キーボードとマウスは正しく接続してください。

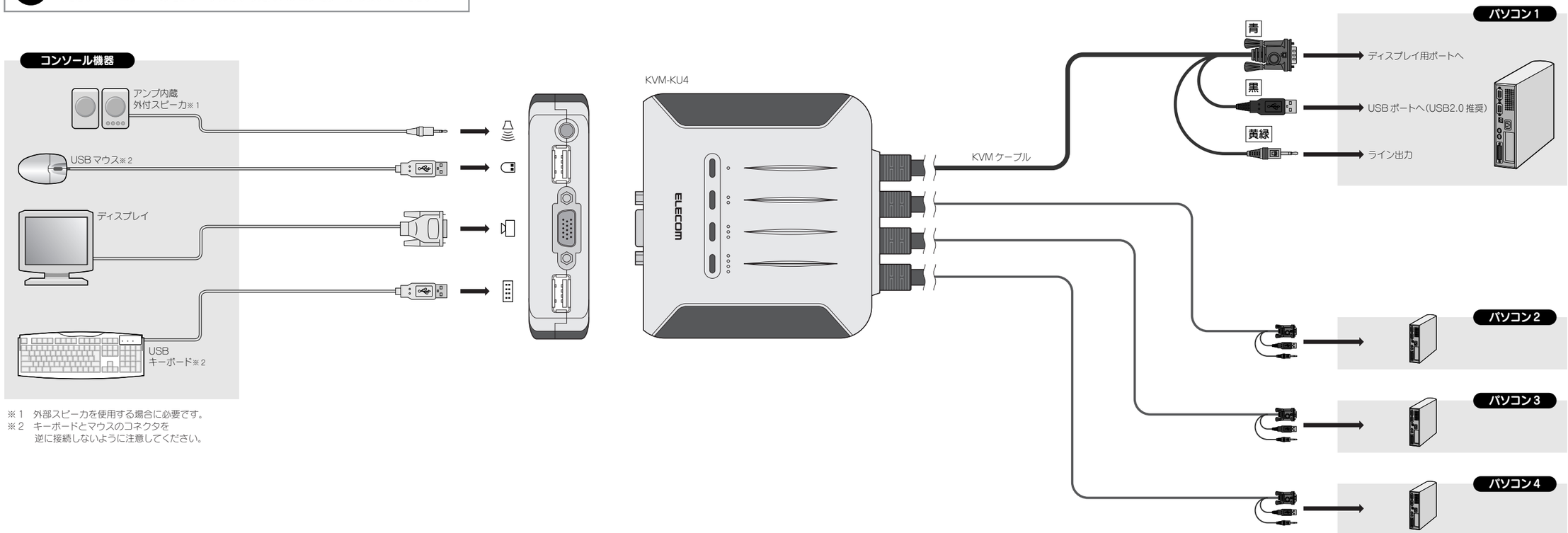
3. PC セレクトランプの ●（パソコン 1）に対応した KVM ケーブルから順にパソコンに接続します。接続図を見ながら、KVM ケーブルの先端の各コネクタをパソコンの適切なポートに接続してください。

4. すべてのパソコンに KVM ケーブルを接続したら作業は完了です。

5. コンソール側のディスプレイと各パソコンの電源を入れると、本製品を使用できるようになります。

接　続　図

接続作業を始める前に、本製品に接続するすべての機器の電源が切れていることを確認してください。パソコン本体の電源ケーブルはいったん AC コンセントから抜いてください。



※1　外部スピーカを使用する場合に必要です。
※2　キーボードとマウスのコネクタを逆に接続しないように注意してください。

③ 使ってみましょう

本製品を使用すると、ホットキーを使ってパソコンを手動で切り替えたり、「オートスキャン・モード」により一定間隔でパソコンを自動的に切り替えることができます。PC セレクトランプの表示状態については SideA の「各部の名称とはたらき」をお読みください。

Tips　ホットキーとは

キーボード上の決められたキーの組み合わせを押すことで、特定のコマンドを実行する機能です。プログラムをメニューから実行したり、機器のボタンを押したりする必要がなく、キーボードから簡単に操作できる便利な機能です。

例えば、本製品では「Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押し、次に Enter キーを押す」という操作で、次のパソコンに切り替えることができます。

手動でパソコンを選択する

キーボードのホットキーを押すことで、本製品に接続されているパソコンの中から、操作したいパソコンに簡単に切り替えることができます。ここではおもなホットキーの利用方法を説明します。なお、ここでは初期値のキー割り当てで説明していますので、「Scroll Lock キーを 2 回押す」を「Ctrl キーを 2 回押す」に変更している場合は読み替えてください。

Tips

本製品の PC セレクトランプのマークは、KVM ケーブルの並びに対応しています。

● →パソコン 1　●● →パソコン 2　●●● →パソコン 3　●●●● →パソコン 4

次のパソコンへ順番に切り替える

ホットキーを実行するたびに「パソコン 1 →パソコン 2 →パソコン 3 →パソコン 4 →パソコン 1…」の順にパソコンが切り替わります。コンソールと音声出力のどちらか一方だけを切り替えることもできます。

●コンソール・音声出力の両方を次のパソコンに切り替える場合

❶ Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押します。
❷ Shift キーを離します。Caps Lock と Scroll Lock ランプが交互に点滅します。
❸ Enter キーを押すと、次の番号のパソコンに切り替わり、ランプは元の状態に戻ります。

●どちらか一方の機能だけを次のパソコンに切り替える場合

❶ Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押します。
❷ Shift キーを離します。Caps Lock と Scroll Lock ランプが交互に点滅します。
❸ コンソールまたは音声出力のうち、切り替えたい機能のキーを押します。
　コンソール→ K、音声出力→ S
❹ Enter キーを押すと、選択した機能だけが次の番号のパソコンに切り替わり、ランプは元の状態に戻ります。

任意のパソコンに切り替える

パソコンの番号を指定することで任意のパソコンに切り替えることができます。コンソールと音声出力のどちらか一方だけを切り替えることもできます。

●コンソール・音声出力の両方を特定のパソコンに切り替える場合

❶ Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押します。
❷ Shift キーを離します。Caps Lock と Scroll Lock ランプが交互に点灯します。
❸ 切り替えたいパソコンの番号に対応する数字キーを押します。テンキー部分の数字キーは使用できません。
　パソコン 1 → 1 キー、パソコン 2 → 2 キー、パソコン 3 → 3 キー、パソコン 4 → 4 キー
❹ Enter キーを押すと、指定した番号のパソコンに切り替わります。

●どちらか一方の機能だけを特定のパソコンに切り替える場合

❶ Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押します。
❷ Shift キーを離します。Caps Lock と Scroll Lock ランプが交互に点灯します。
❸ 切り替えたいパソコンの番号に対応する数字キーを押します。テンキー部分の数字キーは使用できません。
　パソコン 1 → 1 キー、パソコン 2 → 2 キー、パソコン 3 → 3 キー、パソコン 4 → 4 キー
❹ コンソールまたは音声出力のうち、切り替えたい機能のキーを押します。
　コンソール→ K、音声出力→ S
❺ Enter キーを押すと、選択した機能だけが指定した番号のパソコンに切り替わり、ランプは元の状態に戻ります。

注 意　キーを押す順序について

必ずパソコンを指定するキー（1 ～ 4）を押してから、機器の種類を指定するキー（K・S）を押してください。
K・S キーを押す順序は自由です。また、Caps Lock のオン / オフの状態は関係ありません。

Tips　こんな使いかたがあります

（例 1）コンソールだけを次の番号のパソコンに切り替える
❶❷ の操作のあと、K キー、Enter キーの順に押します。コンソールが次のパソコンに切り替わり、音声出力は今までのままになります。

（例 2）音声出力だけをパソコン 1 に切り替える
❶❷ の操作のあと、1 キー、S キー、Enter キーの順に押します。音声出力だけがパソコン 1 に切り替わります。

オートスキャン・モードを使う

コンソールから操作するパソコンを一定間隔で自動的に切り替えます。音声出力はオートスキャン・モードを開始した時点で選択されていたパソコンに固定されます。オートスキャンの間隔は 1 秒単位で指定することができます（初期値：5 秒）。サーバの監視など複数のパソコンの稼働状態を確認するのに便利です。

●オートスキャン・モードを開始する

前回設定した間隔（初期値 =5 秒）でオートスキャンを開始します。
❶ Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押します。
❷ Shift キーを離します。Caps Lock と Scroll Lock ランプが交互に点灯します。
❸ A キーを押します。
❹ Enter キーを押すと、オートスキャン・モードを開始します。ランプは元の状態に戻ります。

●オートスキャン・モードを指定した間隔で開始する

オートスキャンの間隔を指定します。
❶ Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押します。
❷ Shift キーを離します。
❸ A キーを押します。
❹ 数字キーを使って、間隔を秒単位（最大 99 秒）で指定します。テンキー部分の数字キーは使用できません。
　（例：15 秒のとき→ 1・5 キーを押す）
❺ Enter キーを押すと、指定した間隔でオートスキャン・モードを開始します。ランプは元の状態に戻ります。

●オートスキャン・モードを終了する

Esc または （スペース） キーを押します。キーを押した時点のパソコンが選択されます。

注 意　オートスキャン中の操作について

オートスキャン中は Esc および （スペース） キー以外のキー入力およびマウス操作は受け付けません。

ホットキーの設定を変更する

ご使用の環境によっては初期値のホットキーでは別のアプリケーションなどとキー割り当てが重複することがあります。設定モードを使用するとキー割り当てを変更したり、その他のオプション設定を変更できます。パソコンの切り替えが問題なくできる場合は、以下の設定は必要ありません。

●設定モードに入る

❶ Num Lock キーを押しながら − キーを押します。− キーは押してすぐに離してください。
❷ Num Lock キーを離します。
❸ 設定モードに入り、Caps Lock と Scroll Lock ランプが交互に点灯します。
❹「設定コマンド」の表を参照して、実行したいコマンドのキーを押します。
　・設定が終了すると、Caps Lock と Scroll Lock ランプが消灯します。
　・設定モードを手動で終了するには、Esc または （スペース） キーを押します。
　・設定モードのあいだは、通常のキーボード入力やマウス操作はできません。
※手順 ❶ の「Num Lock ＋ − キー」は、設定モードで「Ctrl ＋ F12 」に変更することができます。

●設定コマンド

設定モード中に以下のコマンド操作をすることで設定できます。H T などのアルファベットキーの大文字 / 小文字は区別されません。★印の操作のみ設定モードを終了するには Enter を押す必要があります。その他は該当するキーを押すと自動的に設定モードを終了します。

H	設定モードに入るための操作キーを「Num Lock キーを押しながら − キーを押す」から「Ctrl キーを押しながら F12 を押す」またはその逆に変更します。
T	ホットキーの操作キーを「Scroll Lock キーを 2 回押す」から「Ctrl キーを 2 回押す」またはその逆に変更します。
R 、Enter	★ホットキー機能の各種設定を初期値に戻します。R キーを押したあとに Enter キーを押す必要があります。
F4	現在のホットキー設定を確認することができます。詳しい操作方法は下記の「現在のホットキー設定を見る」を参照してください。
F5	USB ポートが正常に認識されなくなったときなどに USB ポートの接続をリセットします。
X 、Enter	★ホットキーの無効 / 有効を切り替えます。無効にすると設定モードに入る場合を除いてホットキーは使えなくなります。X キーを押したあとに Enter キーを押す必要があります。
Esc （スペース）	設定モードを終了します。
F2	キーボードの種類を Mac キーボードに変更します。
F10	キーボードの種類を自動認識します。

●現在のホットキー設定を見る

設定モードで F4 キーを押すと現在のホットキー設定を確認できます。以下の手順で操作してください。
❶ ワープロまたはエディタソフトを起動し、新規文書を開いておきます。
❷ 設定モードに入り（「設定モードに入る」を参照）、F4 キーを押します。
　自動的に現在のキー設定と各ポートの設定が書き込まれます。

ホットキー設定の見方

@num lock[+@-[and shift,@scroll lock[+@scroll lock[
　└①　　└②

①の部分について
@num lock[+@-[　→設定モードに入る操作に Num Lock ＋ − キーを使用しています。
@ctrl[+@f12[　→設定モードに入る操作に Ctrl ＋ F12 キーを使用しています。

②の部分について
shift,@scroll lock[+@scroll lock[　→ホットキーに「Shift キーを押しながら Scroll Lock キーを 2 回押す」を使用しています。
shift,@ctrl[+@ctrl[　→ホットキーに「Shift キーを押しながら Ctrl キーを 2 回押す」を使用しています。

トラブルシューティング

■キーボードまたはマウスが反応しない

●キーボードまたはマウスのケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
●オートスキャン・モードになっているときは、Esc または （スペース） キーを押して、オートスキャン・モードを解除してください。
●キーボードまたはマウスのケーブルをいったん抜いて、接続しなおしてください。
●特殊マウスをご使用の場合は、Microsoft IntelliMouse 互換のマウスに交換してみてください。
●パソコンの電源をいったん切り、約 5 秒後に再度パソコンの電源を入れてキーボードまたはマウスの反応を確認してください。
●パソコンにマウスを直接接続すると動作するが、本製品に接続すると動作しなくなるという場合は、各パソコンのマウスドライバが異なっている可能性があります。すべてのパソコンで OS 標準のドライバを使用するように設定してください。設定方法については、お使いのマウスおよびパソコンのメーカー様にお問合せください。
●パソコンによっては PS/2 ポートにキーボードとマウスが接続されていないと、USB キーボードやマウスが使えなない、または OS が起動できないという場合があります。このような場合は、PS/2 ポートにキーボードとマウスをつないだ状態でお使いください。

■ディスプレイに何も表示されない

●ディスプレイケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
●他のポートのパソコンに切り替えてみてください。
●解像度 / 帯域幅の設定を変更してください。本製品は、解像度が 2048 × 1536 ドットまでの VGA、SVGA マルチシンクと XGA（組み合わせ）のみに対応しています。
●本製品とディスプレイを接続するケーブルを交換してください。高品質のケーブルを使用することで、画像の問題が軽減される場合があります。

■スピーカから音が出ない

●音声機器（マイク入力＋ライン出力）が正しく選択されているかを確認してください。
●スピーカ～本製品～パソコンの間のケーブルが正しく接続されているか、プラグがしっかりと差し込まれているかを確認してください。
●アンプ内蔵のスピーカを使用しているか、またボリュームが最小またミュート（消音）になっていないかを確認してください。
● OS のサウンドのボリュームが最小またはミュート（消音）になっていないかを確認してください。
●スピーカを TV またはラジカセなどに接続し、故障していないかどうかを確認してください。

■ホットキーが有効にならない

●キーをゆっくりと押した場合、ホットキーとして認識されない場合があります。今よりも早いタイミングで押してみてください。

■ホットキーで使用するキーを他のアプリケーションで別の機能に使用している

●ホットキーの「Scroll Lock キーを 2 回押す」は「Ctrl キーを 2 回押す」に変更できます。また、設定モードに入るための操作キーも、「Num Lock キーを押しながら − キーを押す」から「Ctrl キーを押しながら F12 を押す」に変更できます。操作については「ホットキーの設定を変更する」をお読みください。

ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめの上大切に保管してください。
本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、Web のサポート情報「http://www.elecom.co.jp/」をご覧いただくか、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

商品に関するお問い合わせは
●エレコム総合インフォメーションセンター
TEL. 0570-084-465
FAX. 0570-050-012
受付時間 9:00~19:00 年中無休

保証規定

■ **保証内容**

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます。）内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■ **無償保証範囲**

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
   (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
   (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
   (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
   (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
   (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
   (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
   (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
   (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
   (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■ **修理**

3. 修理のご依頼は、本保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■ **免責事項**

8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■ **有効範囲**

10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保 証 書

型番： KVM-KU4	
販売店 ・住所 ・店名 ・電話番号	
保証期間 1 年	お買い上げ年月日 年　月　日

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
・Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国 Microsoft 社の登録商標です。Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

USB パソコン切替器　KVM-KU4
ユーザーズマニュアル　2007 年 10 月 10 日　第 2 版　エレコム株式会社　K4-WU-1
©2007 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.
K04-001

Windows → Macintosh キーボード対応表

PC/AT 互換機向けキーボードと Macintosh 用キーボードで対応するキーは、次の表のようになります。

PC/AT 互換機向け	Macintosh 用
Shift	Shift
Ctrl	Ctrl
⊞	⌘
Ctrl を押して離してから 1	🔇
Ctrl を押して離してから 2	🔉
Ctrl を押して離してから 3	🔊
Ctrl を押して離してから 4	⏏
Alt	左 Alt / Option
Prt_Sc	F13
Scroll Lock	F14
Desktop Menu	=
Enter	Return
Back Space	Delete
Ins	Help
Ctrl を押して離してから ⊞	F15

キーを組み合わせて使用するときは、はじめに Ctrl キーまたは Alt キーを押した後、次のキーを押してください。

Windows ホットキー　一覧

必要に応じて縮小コピーするなどしてご利用ください。

任意で接続を切り替える

注：Scroll Lock を 2 回押す部分を Ctrl を 2 回に変更している場合は読み替え

●コンソール･音声出力の両方を次のパソコンへ切り替える

❶ Shift を押しながら Scroll Lock を 2 回押す→ ❷ Shift 離す→ ❸ Enter を押す

●コンソール･音声出力のどちらか一方だけを次のパソコンへ切り替える

❶ Shift を押しながら Scroll Lock を 2 回押す→ ❷ Shift 離す→
❸ 指定する機能のキー（コンソールは K、音声出力は S）を押す→ ❹ Enter を押す

●コンソール･音声出力の両方を指定したパソコンへ切り替える

❶ Shift を押しながら Scroll Lock を 2 回押す→ ❷ Shift 離す→
❸ 指定するパソコンの数字キー※（1 ～ 4）を押す→ ❹ Enter を押す

※数字入力について
テンキー部分の数字キーは
使用できません

●コンソール･音声出力のどちらか一方だけを指定したパソコンへ切り替える

❶ Shift を押しながら Scroll Lock を 2 回押す→ ❷ Shift 離す→ ❸ 指定するパソコンの数字キー※（1 ～ 4）を押す→ ❹ 選択する機能のキー（コンソールは K、音声出力は S）を押す→ ❺ Enter を押す

オートスキャン･モードを使う

●オートスキャン･モードを開始する

❶ Shift を押しながら Scroll Lock を 2 回押す→ ❷ Shift 離す→ ❸ A を押す→ ❹ Enter を押す

●オートスキャン･モードを指定した間隔で開始する

❶ Shift を押しながら Scroll Lock を 2 回押す→ ❷ Shift 離す→ ❸ A を押す→
❹ 秒間隔（最大 99 秒）を数字キー※で押す→ ❺ Enter を押す

※数字入力について
テンキー部分の数字キーは
使用できません

●オートスキャン･モードの終了

Esc または (スペース) を押す

ホットキーの設定を変更する

設定モードに入るには、Num Lock を押しながら − を押す→ Num Lock を離す（変更している場合 Ctrl ＋ F12）

●設定コマンド（大文字 / 小文字は区別されません）

H	設定モードに入るための操作キーを「Num Lock を押しながら − を押す」から「Ctrl を押しながら F12 を押す」またはその逆に変更します。
T	ホットキーの操作キーを「Scroll Lock を 2 回押す」から「Ctrl を 2 回押す」またはその逆に変更します。
R、Enter	ホットキー機能の各種設定を初期値に戻します。R を押したあとに Enter を押す必要があります。
F4	現在のホットキー設定を知ることができます。詳しい操作方法はマニュアルの Side C「現在のホットキー設定を見る」を参照してください。
F5	USB ポートが正常に認識されなくなったときなどに USB ポートの接続をリセットします。
X、Enter	ホットキーの無効 / 有効を切り替えます。無効にすると設定モードに入る場合を除いてホットキーは使えなくなります。X を押したあとに Enter を押す必要があります。
Esc または (スペース)	設定モードを終了します。